科学技術と人類

科学技術が人類に与えた影響について振り返ってみよう。15世紀半ば、グーテンベルクは活版印刷技術を考案し、初めて印刷を聖書したと言われている。この技術は中世社会に急速に普及して大量の印刷物を世に送り出し、ルネサンス期において情報が伝播する速度を飛躍的にか向上させた。18世紀半ば、ワットが発明した蒸気機関の動力への活用は、工業社会のエネルギー生産の基本的な原動力になると共に、燃料であった石炭を時代の主役にした。そして18～19世紀は、交通手段が大きく変わり、人や物資を運ぶ手段が帆船から蒸気船へ馬車から蒸気機関車へ移り変わり、人類は地球規模の大量移動手段を手に入れた。

20世紀半ばからのコンピューター技術の発達速度と世界的な拡大は、それまでの科学技術の社会への影響を超えたとも言えよう。大企業国家やの独占物であったコンピューターは、パソコンの発明と**、**世界的な普及で庶民の道具となった。21世紀初頭、更に高度化したパソコンと高速大容量ネットワークを結合する技術は、スマートフォンとクラウド・コンピューティングの普及を促した。現在、クラウドに蓄積された大量~~情報~~を活用するビッグデータ技術とAI(artificial intelligence：人工知能)技術は、更なる変革を近未来社会にもたらすと言えよう。

文京学院大学経営学部紀要第23巻より一部抜粋